

6月分相談対応報告

団体名：一般財団法人 北海道国際交流センター

●今月の照会・相談対応全体に対する所感(注:具体的に記載して下さい。)

今月はNGO活動をしてゆく上で、団体としてのネットワークを広げたい、他団体の活動状況を知りたいという問い合わせが多かった。理由としては、他団体の活動を知った上で情報を共有し、ネットワークを広げ、同様のプロジェクトがあれば協働しやっていきたいということだった。特に北海道は国際、環境NGOが多いため、プロジェクトや事業も似ているものが多く、それぞれの活動を知ることで自分たちの特色をだすことができるのではないかとことから、NGO同士の積極的な結びつきが望まれた。また、開発教育に関しても、学生を中心に興味を持っている人が多く、多くの相談が寄せられた。また、退職者や主婦から、NGOの設立、あるいは広報や組織運営など多くの相談が寄せられており、北海道を広域で営業する効果がでてきている。

●今月貴団体が対応した照会・相談のうち、3件記載下さい。

標題	環境教育、国際協力通した若者支援のあり方
相談内容	道内の環境NGO団体を中心にNGO活動を通して若者支援活動にたずさわっている団体と意見交換をしたい。
対応内容	道内でNGOを通して若者支援活動をしている団体(NPO法人ねおす、Ezo rock等)の設立趣旨や、それぞれの団体の活動を紹介し、NGO活動を通した若者支援についての情報を提供した。また、それぞれのNGOの特徴を資料などで説明した。

標題	開発教育について
相談内容	道内で開発教育に関わっている団体を知りたい。また、情報を共有し、2015年に行われる開発教育全国研究大会について知りたい。
対応内容	道内で活動している開発教育ネットワーク(D-net)を中心に、JICA、JOCAなど活動の他、開発教育に興味のある教員、NGO団体を調べ情報を提供した。また、2015年に行われる開発教育全国研究大会についても紹介し、今後の活動情報などについても提供した。

標題	海外ボランティアについて
相談内容	夏休みを利用して海外ボランティアに行きたい。NGOの主催するボランティアで費用が安く、有意義な活動ができるボランティアはないかとの相談。
対応内容	夏には様々なNGOがスタディツアーや海外ボランティアを募集している。その情報を与え、学生がどのようなところでどのような活動をしたいのかを聞き、少しでも希望にそえるようなボランティア情報を提供した。学生にとって一番の問題は費用なので、参加費の少ない海外ボランティアのプログラムを中心に情報提供を行った。